

次号予告

特集 待ち行列理論—最近の話題から—

待ち行列ネットワークの安定性	小沢利久 (駒澤大学)
反射型ランダムウォークの漸近解析	小林正弘 (東京理科大学)
最小統計量のラプラス極限—確率ネットワーク算法の話題から—	高田寛之 (長崎大学)
構造化マルコフ連鎖の切断誤差評価	増山博之 (京都大学)
セルラネットワークの空間点過程モデル	三好直人 (東京工業大学)

メンバーリストに登録しよう

本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。OR学会の活動に特に関心のある方ならば、誰でも登録できます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html> をご覧ください。

編集後記

●この編集後記を執筆している最中に、69回目の終戦の日を迎えました。初期のオペレーションズ・リサーチに関する研究は、軍事的な関心によるところが大きかったのですが、現在では、設計、製造、物流、金融、情報通信、インフラなど経営上の意思決定にORはなくてはならないものになっています。ここまでORがビジネスで利用されるようになった背景には、理論的な研究と実践に根ざした応用研究が両輪となり発展してきたという特徴があると思います。

●今回の特集「実装における計算技術」は、その両輪を表しているテーマで、アルゴリズムによる理論とそれをどのように実装すべきかが紹介されています。この10年でコンピュータの性能は格段に向上したもの

の、扱うデータも膨大になっているため、アルゴリズムと効率のよい実装は必要不可欠です。本誌では実際に大学の講義で実施されている内容や、Pythonによるコードも紹介されているので、すぐにでも手を動かすことができる内容になっています。Googleでは、アイデアを出すだけでは評価されず、アイデアを実装し形にして初めて評価されるという社風があり、私もどんどん手を動かさなければと思っています。

●来年は戦後70年、OR誌も60巻を迎えます。先人たちが残してくださった叡智と、築いてくださった環境を大切にしながら研究に取り組みたいと思っています。

(中原孝信)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	池上敦子 (成蹊大学)
委員	池辺淑子 (東京理科大学)、石井儀光 ((独)建築研究所)、鶴飼孝盛 (中央大学)、小林隆史 (東京工業大学)、坂本英夫 ((株)東芝)、佐久間 大 (防衛大学校)、笹谷俊徳 (東京ガス(株))、猿渡康文 (筑波大学)、高野祐一 (専修大学)、武内陽子 (公益財団法人 鉄道総合技術研究所)、中原孝信 (専修大学)、生田目 崇 (中央大学)、原田耕平 (NTTデータ数値システム)、松井知己 (東京工業大学)、宮代隆平 (東京農工大学)、矢野夏子 ((株)構造計画研究所)、吉住貫幸 (日本アイ・ビー・エム(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成26年10月号 第59巻 第10号 通巻646号

代表者 大宮 英明

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 池上 敦子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

- 本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- 本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。